

# ベルハンマーよくある質問集 工場ユース編

ベルハンマーを工場で使用しているお客様からよく頂くご質問を問答形式でまとめてみました。  
下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

## ご注意（免責）

ブレーキ・クラッチ・特にバイクのエンジンオイル（湿式クラッチ）等、摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しないでください。

本商品は自己責任にて使用をお願いします。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては一切保障いたしません。

## LS BELL HAMMER

**Q** LS ベルハンマーはボルトの緩め剤として使用できますか？

**A** LS ベルハンマーは浸透性が高い商品になりますのでボルトの緩め剤として使用して頂いております。

**Q** 減速機のギアオイルへのLS ベルハンマー原液の添加割合を教えてください？

**A** 機械装置減速機のギアオイルの5~10%添加を推奨します。  
14%以上添加しても、それ以上の効果は期待できません。  
使用することによる、マイタやスピンドルの延命が期待できます。

**Q** ドリル・タップなど切削工具への効果は？

**A** 治具、刃先に定期的にLS ベルハンマーを塗布して、ワーク片に空ショットを数回行うことにより延命に繋がります。

**Q** プレス機の上下に摺動するスライドシャフトに給油したいと考えています。  
使用は可能ですか？

**A** 摺動箇所全体に、LS ベルハンマーを全軸に塗布して動かすことにより段々と摺動(回転)等が良くなっていきます。

**Q** 汎用旋盤のベッドの滑りにも効果ありますか？

**A** 滑りおよび荷重のフィーリングは軽くなる可能性は高いです。

**Q** LS ベルハンマーに防錆効果はありますか？

**A** 基本は潤滑剤としての商品ですが、防錆効果はJIS規格のNP-3相当になりますので通常の錆止めの上級クラス程度の効果はございます。

**Q** 「ワンウェイクラッチ」に使用した場合にトルク伝達ができなくなるような状態(空回り)に陥ることはあるでしょうか？

**A** 基本的に、LS ベルハンマーはクラッチやブレーキのような摩擦で制御する箇所には使用できません、空滑りしてしまいトラブルの元になります。

**Q** プレス加工油として使ってみたいと考えていますが大丈夫でしょうか？

**A** 加工油としての使用はおやめください。  
LS ベルハンマーを使用することで(塗布した金属部分が回転・摺動することで)金属表面を固くしてしまうため、加工条件が厳しくなってしまいます。  
基本的に、周辺の冶具の延命にご使用頂くものですので  
そちらの用途でお使いください。

## BELL HAMMER 共通編

**Q** ねじのかじり防止(焼き付き防止)として使用可能でしょうか？

**A** 使用することにより、トラブルが起きる可能性が高いので使用しないで下さい。  
例：過剰トルクなど

# LS・H1 ベルハンマー 耐油表

(注) 下記データは室温によるデータです。

高温等で使用する場合は、試験片による実用試験にて確認して下さい。

下記 ご注意（免責）をご確認のうえ参考にして下さい。

## ご注意（免責）

工業製品に使われているゴム・樹脂・プラスチックは無数の種類・物性・特性があります。

あくまで参考資料として耐油表をお使い下さい。

本製品を使用した塗布対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては一切保障いたしません。

## ① ゴムに対する影響

ゴムの種類（略号）		ゴムの種類（略号）	
天然ゴム (NR)	×	ニトリルゴム (NBR)	◎
ブタジエンゴム (BR)	×	アクリルゴム (ACM)	◎
スチレンゴム (SBR)	×	ウレタンゴム (U)	◎
ブチルゴム (IIR)	×	シリコーンゴム (Si)	○△
エチレン・プロピレンゴム (EPM)	×	フッ素ゴム (FPM)	◎

## ② プラスチック・樹脂に対する影響

プラスチック・樹脂の種類（略号）		プラスチック・樹脂の種類（略号）	
塩化ビニル樹脂/軟質 (PVC)	△	フッ素樹脂 (PTFE)	◎
塩化ビニル樹脂/硬質 (PVC)	○	ポリカーボネイト (PC)	◎
ポリスチレン (PE)	—	メチルペンテン樹脂 (TPX)	◎
ABS (ABS)	◎	ポリウレタン (PU)	—
ポリエチレン (PE)	△	フェノール樹脂 (PF)	◎
ポリプロピレン (PP)	○	メラミン樹脂 (MF)	◎
ナイロン (PA)	◎	エポキシ樹脂 (EP)	○
アクリル樹脂 (PMMA)	○		

◎：全くあるいはほとんど影響がない ○：若干の影響はあるが条件により十分使用に耐える

△：なるべく使用しないほうがいい ×：大きく影響があるため、使用に適さない

—：データ無し